

井原市
教育便り

ともなび

2020.10
VOL.10

今回のともなびは、学校でのICT環境の整備、本市のコロナ対策などをお知らせします。



井原市マスコットキャラクター でんちゅうくん

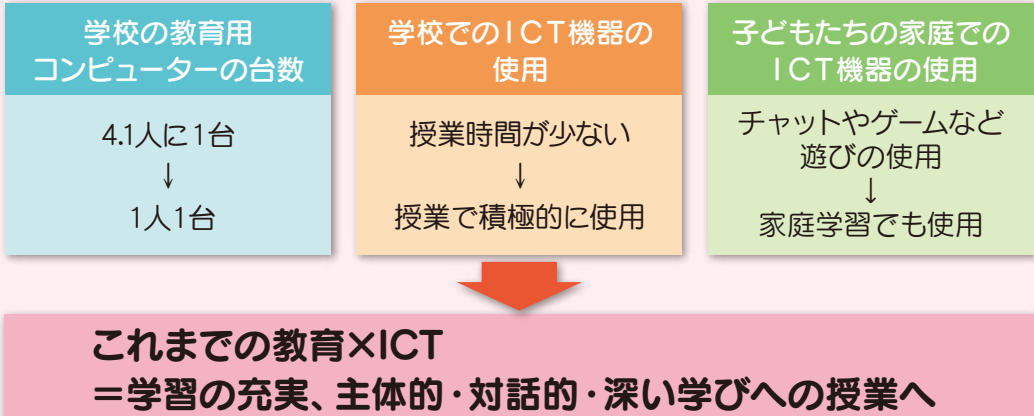
学校ICT環境の整備

多様な子どもたちを誰ひとり取り残すことなく
才能や能力を育成できる環境の実現に向けて

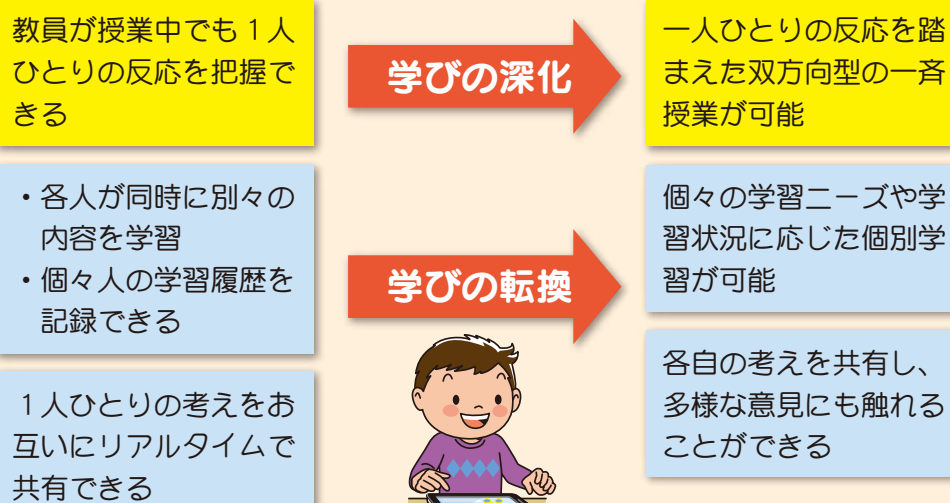
井原市では、文部科学省が打ち出した「GIGAスクール構想」に向けて、小中学校と市立高等学校の全児童生徒に一人一台の学習用タブレット端末を購入し、校内には高速ネットワーク環境の整備を進めています。

タブレット端末の導入は今年度中に行い、学校で扱いに慣れることから始めていきます。

タブレット端末を電子黒板やデジタル教科書と一緒に使い、写真や動画などを見ながら、より分かりやすい授業を進めることができます。



1人1台端末の学習効果



ICTの活用により

充実する学習の例

- 調べ学習：課題や目的に応じて、インターネットで情報を主体的に収集・整理・分析
- 表現・制作：文章を考えながら長文を作成、写真・音声・動画などを使用した資料などの作成
- 遠隔教育：過疎地などでも、多様な考えに触れることができる
- 情報モラル教育：情報モラルを意識する機会の増加

(文部科学省ホームページから抜粋)

「ふるさと井原の未来を創る ひとづくり事業」の推進

井原市では、ふるさとの魅力的な「もの」「ひと」「しごと」と出合い、関わる機会を学校や地域等の様々な場面で用意し、ふるさとや地域社会への関心を高め、魅力の向上や課題の解決に能動的に取り組む人材『井原“志”民』の育成をめざしています。

令和元年度より、井原中学校区が岡山県のモデル校指定を受けており、今年度中学2年生の総合的な学習の時間のテーマを『井原応援プロジェクト』と題し、学区内の幼稚園・小学校や井原商工会議所青年部と連携をとりながら、井原駅前イルミネーションイベント『ミナクルネ』を盛り上げることでふるさとを元気にする企画に取り組んでいます。

このような取組を通して、地域・家庭・学校が総ぐるみで「ひとづくり」を進める機運の醸成を進めています。



「幼児教育と小学校教育のスムーズな接続をめざして」 「保幼小接続カリキュラム」の実施

「保幼小接続カリキュラム」って？

年長（5歳児）の秋（10月頃）から、小学校1年生の1学期（7月頃）までの時期を「接続期」ととらえ、保育園・幼稚園・小学校の教職員が、この時期の子ども達に育てたい力を共通理解して教育を進めていくためのカリキュラムです。

幼児教育

「遊び」を通して
行う総合的な学び

接続的(年長10月頃) ～1年生1学期

- 生活する力
- 人とかかわる力
- 学ぶ力を育てる

小学校教育

教科書の学習を中心とした学び

保、幼、小合同の教員研修

- ・互いの保育・授業を見る
- ・子どもの様子を情報交換する

子ども同士の交流

- ・小学校って楽しそう
- ・優しい上級生や先生がたくさんいるよ

持続カリキュラムの実施

- ・保育園、幼稚園での学びを小学校での学びにつなげる
- ・10分、15分のモジュール学習から徐々に45分の授業に慣れていく



■田中美術館特別展

没後110年 荻原守衛〈碌山〉
ロダンに学んだ若き天才彫刻家

と き 10月9日(金)～11月29日(日)

時 間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日
(ただし11月23日は開館し、翌日休館)

入館料 800(640)円
65歳以上 400(320)円
()内は前売券及び20名以上の団体料金



■芳井歴史民俗資料館特別展

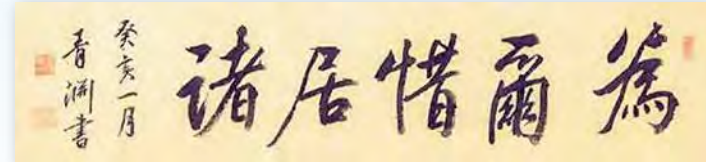
「渋沢栄一と阪谷朗廬・芳郎」

と き 10月24日(土)～12月6日(日)

時 間 午前9時～午後5時

休館日 月・木曜日
(ただし11月23日は開館し、翌日休館)

入館料 無料



渋沢栄一書「爾(なんじ)の爲(ため)に」
居諸(きよじよ)を惜しめ」



コロナに負けるな! いばらっ子ウィズコロナの生活

学校が再開と聞いた時は、うれしくてうれしくて仕方なくて、次の日がまちきれなかったです。(小・中学年)

マスク着用の生活が続いて、夏の体育がともしんどかった。みんな暗い気持ちになっているけど、笑顔で楽しく学校生活を過ごしています。(中学生)

中学校生活最後のコンクールがなくなった。いつもより早めの引退だった。なんだかやりきれない気持ち。(中学生)

学校のプールがなくてざんねんだった。あついに毎日マスクをしなくてはいけないので大へんだった。(小・低学年)

中学校最後の年なのに、行事がいっぱいなくなったのは、残念だったけど限られているなかでたくさん楽しもうと思った。今は大変な時期だけど、いつかの底から笑顔になれる日が来ることを願っています。(中学生)

修学旅行がなくなりました。すごく残念です。でもこの状態の中でも先生方が体育大会を開催して下さいました。すごく盛り上がり学校生活一の思い出になったと思います。(中学生)



こういう時ほど団結力が高まるかなと思ったけど、コロナにかかってしまった人へのひぼう中傷がありとても残念だと思った。(中学生)

コロナウイルスのおかげであまりまえの大切さに気付けたから良かった気がする。悪いことではなかった。自分がどれだけ周りの人を必要としていたか分かった期間だった。(中学生)

班活動ができなくなった。休校になったけど、受験に向けて勉強する機会になった。マスクをしているとどうしても人の表情がよみとりにくい。(中学生)

休校になってソフトの自主練をした。家の手伝いをがんばった。(小・高学年)

大好きな先生とあと1か月過ごせないまま離任されていったのが悲しかった。(中学生)

部活の大会がなくなってめっちゃショック。コロナに自粛してほしいなあ。世界がコロナに勝ってコロナがおさまったらはしゃぎたい。(中学生)

しょうどくをしすぎて手がカサカサになった。(小・中学年)

卒業式は全校でやりたい。(中学生)

学校生活に大きな影響を与えた、コロナウイルス感染症。学校は臨時休校となり、家にいる時も人との接触が制限され、友だちと十分に遊ぶこともできなくなりました。

学校再開後も子どもたちが楽しみにしていた運動会や修学旅行なども例年とは変わった形でわれています。

こんな今まで経験したことのない、ウィズコロナの生活を通じての小中学生の自由メッセージを紹介します。



家の人とみんなでいっしょに公園であそびたい。(小・低学年)

給食でみんなと向き合って食べられなかった。(中学生)



学校では窓を開けないといけなからエアコンをつけても全然涼しくなかった。(中学生)

家にいることがふえたのでお母さんと料理をつくりました。今はとくいな料理を1人で作れるようになりました。(小・中学年)



井原市教育委員会便り
ともなび

■発行 井原市教育委員会
■編集 教育総務課
■住所 井原市井原町 311-1
TEL 0866-62-9531
FAX 0866-62-0332
メール ksoumu@edu.city.ibara.okayama.jp

行事	内容	場所	日時
「新館オープンに向けて最後の感謝展」	新館建設に伴う休館を前に、田中美術館所蔵の平櫛田中作品約80点を全館展示	田中美術館	令和2年12月8日(火)～12月27日(日)
ふたご座流星群を見る会		井原市立田中美術館	令和2年12月14日(月) 18時～22時 ※要予約
星空公園観望会		美星天文台	令和2年12月16日(水) 18時30分～20時30分
くらしと人権講座第5回講座(2020)	男女共同参画地域フォーラムいばら	星空公園	令和2年12月20日(日) 13時30分～15時30分
講師	弁護士 住田 裕子氏	井原市市民会館	
演題	「二人ひとりが輝こう」	井原市市民会館	
内容	私の個性もあなたの個性も		

教育委員会のコロナウイルス感染症対策に対する主な取組み

子どもたちの安心安全を確保

- 加湿機能付空気清浄機、非接触体温計、エチケットマスクなどの購入
- スクールバス内の密集を避けるため、乗車率の高いスクールバスは増便して運行

経済的支援

- 就学に経済的な支援が必要と認められる世帯に対し、休校期間中の給食費相当額の一部を補助

井原市のコロナ対応

2月27日	国が全国一斉休校を要請
3月2日	中学校・市立高校臨時休校開始
3月10日	小学校臨時休校開始
4月7日	学校再開
4月20日	再度の臨時休校開始 臨時休校期間中は週1日～2日の登校日
5月25日	学校再開
8月1日	夏休み開始
8月17日	市立高校第2学期開始
8月20日	小中学校第2学期開始
・修学旅行を中学校は中止、小学校は、12月～3月に延期して実施する見込み	

